

2012年9月26日

「両院議員総会」

皆様に正々堂々たる総裁選挙を戦っていただきまして、ただ今、安倍晋三新総裁の誕生をみたわけでございます。まず、皆様とともに安倍新総裁に心からお祝いを申し上げたいと思います。おめでとうございます。

そして、この厳しい総裁選を安倍新総裁とともに戦われた石破先生、町村先生、石原先生、そして林先生のご健闘を心から称えたいと思っております。本当にご苦労様でございました。

3年前、皆様のご推挙によりまして、自民党の総裁に私は就かせていただきました。当時の自民党は閉塞感、挫折感に満ちておりました。何とかもう一回、国民の皆様の信任を得る自民党にしたい。このように思って、この3年間歩んでまいりました。

大変至らないところが多い私でございましたけれども、政権を取り戻すことが単に自民党のためではない。日本国のためだ。国家、国民のためだという思いを、党員の皆様に共有していただきまして、至る所で精進を遂げ、一生懸命戦っていただいた結果、各般の選挙にもだんだん勝利を占めるようになってまいりました。そして二つの内閣を退陣にも追い込みました。皆様と一緒に3年間歩んでまいりまして、何とかもう一回自民党の信頼を取り戻そうと、あと一步のところに来ているわけがあります。

しかし、百里の道も九十九里をもって半ばとす。この一步こそ、私どもが一致団結して乗り越えなければならない一步でございます。安倍新総裁がこの最後の一步を乗り切れる。その先頭に立っていただいて、私はこれから一兵卒として、この一步を乗り越えていくために一緒に努力をいたしたいと思っております。そして安倍新総裁にこの先頭に立っていただいて、何よりも大事なことは、私たちは国家、国民のためにこの選挙戦を乗り越えて、あとは一致団結して、まとまって必ず政権を奪還する。このことを私は固く、固く信じて疑いません。

至らない者でございますが、3年間本当にお世話になりました。今、安心して安倍新総裁にバトンタッチして、私は影の男になります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。ありがとうございました